

第13回 小諸市長期学校改築計画検討会 議事概要

日 時：平成30年1月17日（水）19:00～19:15

場 所：小諸市役所3階 第1会議室

【出席者】

委 員 14名（欠席者 尾芦委員、福田委員、大池委員）
事務局 5名

【日 程】（進行3は副座長 他は教育次長）

1. 開 会
2. あいさつ 渡辺座長
3. 提言書の確認
4. 提言書の提出
5. お礼のことば 小林教育長
6. 閉 会
（記念撮影）

【座長あいさつ】

今回、13回目の会議となりました。視察研修を1回、中間報告会を1回で、会議が13回で計15回の研究等をやってきたわけですが、今日は小林教育長に提言書を提出するという日を迎えて、この日が我々の委員としての任期が終了するという日になっております。本当に時間的にも大変貴重な時間帯で会議を開いていただき本日を迎えることができました。本当に皆さんに感謝申し上げます。また教育委員会事務局の教育長をはじめ事務局の皆さんにも大変ご協力をいただきありがとうございました。とりわけ井出副座長には小中学校の現場、それから教育行政というものに大変精通されておりましてですね、お力を発揮していただき心から御礼を申し上げたいと思います。大変ありがとうございました。今日は確認いたしました提言書の中身の一部でみんなで確認して変更した部分がありますので、その確認をして提言書を提出させていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

【結果】

3. 提言書の確認について

前回検討会で修正を指摘された部分について、修正し事前に送付した提言書の最終確認を行った。

副座長：それでは前回私どもが提言について確認をしてきたところであります。その中でここは修正しようという箇所がいくつかありました。それぞれお持ちの提言書

で確認されてきたかと思いますが、ここでもう一度最後に見ていただいてこれでよしということをおみんなで確認したいと思います。

それでは第1章、2章、3章ということに分けて行っていきます。まず第1章ですけども、小中学校を取り巻く状況についてということで、これが2ページから6ページまでになっております。この中でいくつかの点をご指摘いただき、直してもらいましたがよろしいでしょうか。

(一同：うなづく)

はい、ありがとうございます。それでは続きまして第2章に入ります。第2章はですね、私どもの提言の内容でございますが、一つ目の提言につきましては、10ページにあります【少子化の進展に対応した小中学校のあり方】ということで、「未来に生きる小諸市の子どもたちのために、学校教育の変化や多様な子どもの教育的ニーズに対応できる学習環境を整える」ということで、12ページの方では提言2としまして、【望ましい小学校の規模】として、「1学年 20～30人前後」「1学年 少なくとも2～3学級」ということで、学校の規模を考えると。そして提言2には附帯事項をつけました。13ページにあります、「小諸市の子どもたちにとって「望ましい学校の姿」の実現のため、市内小学校は再編が必要な状況である。」というようにこの会のところでは判断したということです。それから提言3は17ページにあります【小中学校の配置及び校区について】ということで、これは2点ありました。一つ目は「区の中で学校が複数校に分かれることのないよう、学校再編とあわせて通学区の見直しも検討する」それからもう一つは「小中一貫教育制度のあり方についても検討する」ということであります。「なお、学校再編にあたっては通学路の安全確保や遠距離通学に配慮すること」ということを一項目付け加えてあります。これが第2章であります。このことについていかがでしょうか。よろしいでしょうか。

(一同：うなづく)

はい、ありがとうございます。第3章ですが、18ページの3-1、3-2ということで、今後こんなところに留意をしていただきたいということをお2点そこにあげまして、そのあとは資料ということになっております。第3章のこの2点は今後の課題ということで取り上げてありますがよろしいでしょうか。

(一同：うなづく)

はい、ありがとうございます。それでは確認が以上で終わりました。以上をもちまして提言書という形で教育委員会の方に提出するという形になると思います。ありがとうございます。

次長：ありがとうございます。ただ今提言書の確認をしていただきました。それでは渡辺座長さんの方から小林教育長の方へ提言書をお渡しいただきますようお願いいたします。

座長：ただ今最終確認を行ったところであります。我々が1年間にわたって研究検討してきた結果でありますので、ここで提言書を提出させていただきたいと思っております。よろしくお受け取りいただければと思っております。また、これを基に今後も引き続き小諸市

の教育の進展のためにご尽力を賜りますようよろしくお願いいたします。

教育長：大事にしっかりと受け止めさせていただきます。ありがとうございました。ただ今は1年間の検討の結果が詰まった提言書をいただきました。ありがとうございました。全くの白紙から小諸市の教育を30年、50年先まで見越してどういう姿にしていくのかってことで様々な議論をしていただいた中の結論でありますので、教育委員会はしっかりと受け止めさせていただきたいと思います。今後はこれを教育委員会の主体の中で各学区に赴いてご説明を申し上げ、できれば市民の皆様方にご理解をいただきたいと考えているところでもあります。子どもにとってどのような教育環境がいいのかという立場で特化した内容になっていますので、おそらく多くの市民のみなさんにご賛同いただけるんじゃないかなと思います。その後の方がむしろいろいろな具体になりますと、課題がきつと見えてくるんじゃないかなというふうに思います。財政の問題、学校に寄せる地域の思い、歴史、様々なものが具体になりますと出てまいりますけれども、この提言書の段階は本当に基本の設計の小諸市の教育が目指すべき方向を描いていただいておりますので、これについて大事な基本設計と考えて多くの市民の皆さんにご説明申し上げご理解いただきたいなというふうに思っています。本当に難しい0からの出発をここまで作り上げていただきまして、座長の先生、副座長の先生、そして委員の皆様本当に感謝申し上げます。教育委員会はこれをしっかりと受け止めさせていただきたいと思います。どうもありがとうございました。